

『みんなでづくり、次世代につながる庁舎～奥多摩町役場新庁舎建設』に伴う基本設計（案）の概要について



【はじめに】

町では、建設から58年が経過し、老朽化と耐震基準に課題を抱えた現在の役場庁舎について、令和4年度に検討を重ねた庁舎建設委員会からの答申内容及びこれまでに実施した住民説明会やパブリックコメント等でお寄せいただいた皆さんからのご意見等を踏まえたうえで、新庁舎の建設整備に向けた取り組みを進めています。現在は、「庁舎建設基本計画（令和5年3月策定）」の内容に基づき、昨年9月から基本設計作業を進めていますが、ここで敷地全体の配置計画や庁舎内部における諸室の位置関係などについて、状況が目に見える形になってきましたので、住民の皆さんをはじめとする多くの方々にその概要をお知らせします。

【新庁舎の概要】

建設予定の場所は、他の官公署との関係性や防災拠点としての安全性確保を考慮しつつ、町の結節点である大氷川地内（JR青梅線奥多摩駅東側、氷川小学校との間）が庁舎建設委員会で選定されました（敷地面積は約5,800㎡）。基本計画では、庁舎の延べ床面積を約3,800㎡としておりましたが、昨今の建設費高騰などの影響も懸念されるなか、各部屋の使い方や配置の工夫あるいは多目的化などを進めることで、現時点では3,100㎡程度としてコンパクト化を図り、建設コストを抑えるように努めています（2階建て・太陽光発電設備の導入を検討）。

また、そういった中でも住民サービス向上と効率化を目指す観点から分散している福祉保健課（主に事務職部門）を新庁舎に集約していく計画としています（古里出張所の機能は維持）。新庁舎の基本理念には「誰もが親しみやすく、訪れやすい庁舎」であることも掲げていますが、具体的には庁舎内での「みんなのリビング」や屋外での「みんなのひろば」を配置する計画としています。アクセス（通路）について、車両は奥多摩工業側からの新規専用車道により、歩行者は既存の福祉会館側から踏切経由の通路のほか、奥多摩駅前広場からの送迎車両（新規配置）や西東京バスでお越しの方は、新庁舎まで乗り入れできるように検討を進めています。

なお、新庁舎建設に掛かる概算事業費につきましては、これから基本設計を固めていくなかで算出してまいります。現状におきましては、庁舎本体に係る部分で約22億円、その他の経費を含め全体の総事業費では約30億円を見込んでいます（財源は、庁舎建設基金（令和4年度末17億円超）のほか、東京都市町村総合交付金及び振興基金など）。新庁舎は、みんなにとってのシンボルやランドマークとなるような建物とし、可能な限り多摩産材などの木材を活用し将来につなげる建物とします。

■設計方針

□基本理念

新庁舎建設にあたっては、「誰もが親しみやすく、訪れやすい庁舎であるとともに、地域住民の安全・安心を確保するため、災害時には危機管理対応を果たす『防災拠点』としての機能、そして地域コミュニティの活性化につながるような、一人ひとりがイメージする『奥多摩らしさ』を併せ持つ庁舎を目指すこと」を基本理念としています。

□「奥多摩町庁舎建設基本計画」で定められた5つの基本方針

- ・みんなでづくり、次世代につながる庁舎
- ・防災拠点の機能を果たせる庁舎
- ・町民に親しまれ、利用しやすい庁舎
- ・機能的で働きやすい庁舎
- ・人と環境にやさしい庁舎

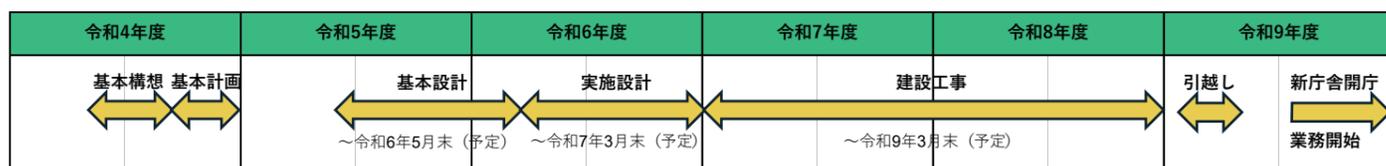


□基本機能

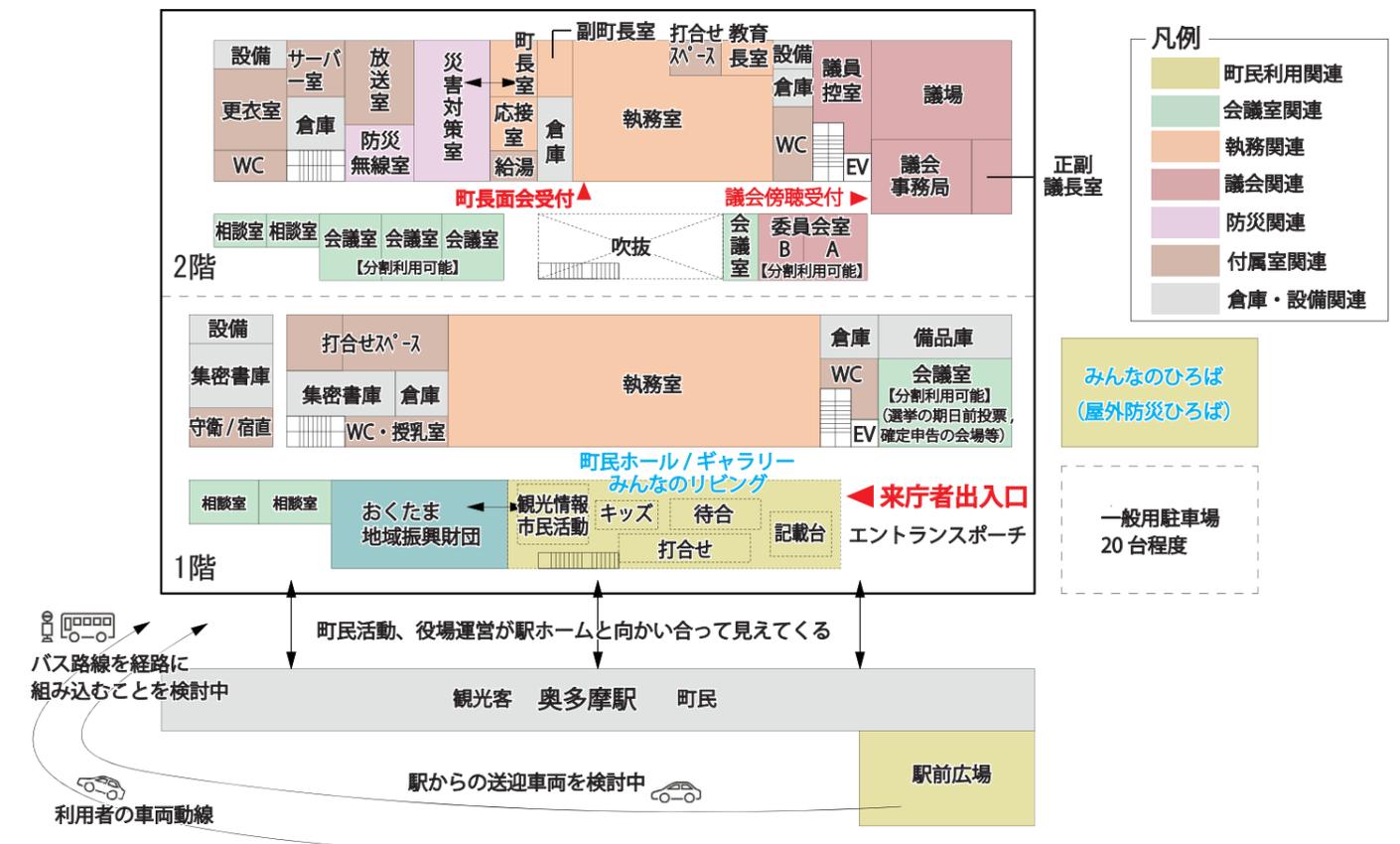
基本理念を具現化する方策として、基本計画で掲げる基本方針を踏まえ、7つの基本機能を定めています。

- 1 窓口機能**：効率的で利用しやすい窓口とするため、ローカウンターを設置やゆとりのある通路など
- 2 防災機能**：災害対策本部を設置するスペースの確保や災害に強い構造など
- 3 執務機能**：オープンプラザを基本とした明るい執務空間や多用途に使用できる会議室など
- 4 施設管理機能**：個人情報や行政情報の適切な管理や庁舎管理に対応した強固なセキュリティ対策など
- 5 文化・交流機能**：観光情報の発信スペースや交流・憩いの場として活用できるスペースの確保など
- 6 アクセシビリティ（利用しやすい）機能**：分散している業務等を集約した利便性に優れたコンパクトな庁舎など
- 7 議会機能**：議会活動が十分にできるよう諸室の効率的な配置と多目的用途を視野に入れた議場など

■全体概略スケジュール



■概略図【下図は基本的な諸室の機能や外部との関連を示した機能構成図（案）になります。】



■お知らせ～ご意見をお寄せください～

「庁舎建設基本設計（案）概要版」に対するパブリックコメント（意見募集）について

- ・実施期間：令和6年3月25日（月）～令和6年4月8日（月）
- ・提出方法：町ホームページのパブリックコメント専用フォーム又は記入用紙でご提出ください。
- ・記入用紙配布場所：役場1階住民課、子ども家庭支援センター、保健福祉センター

※今後も情報発信に努め、皆さんのご意見を伺いながら庁舎建設事業を進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。

【問い合わせ先 奥多摩町企画財政課企画調整係 TEL:0428 (83) 2360】

専用フォーム
二次元コード



■配置計画について

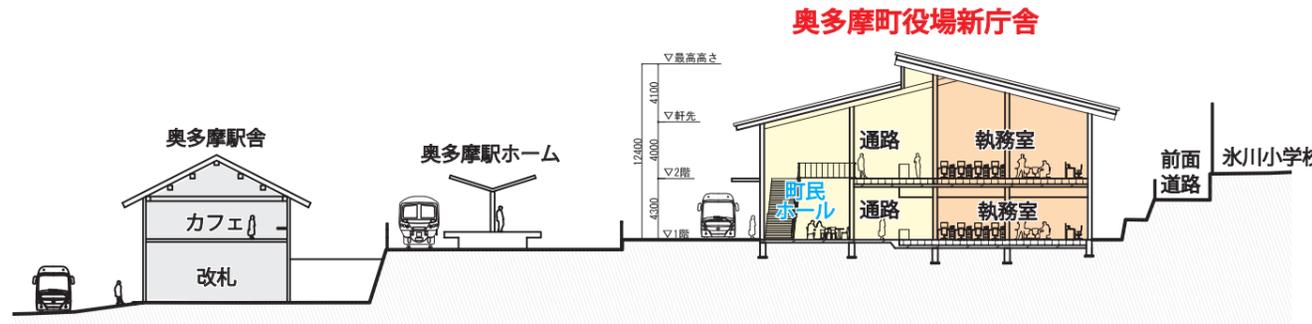
建物は近隣の住宅に対して日影をつくることを避けるため敷地右側は来庁者用駐車場や災害時にも利用するひろば（みんなのひろば）としています。

建物は来庁される方々が利用しやすいよう、1階に主要な窓口を配置し、2階窓口も町民ホールと吹抜け越しにつながることでわかりやすく効率的でコンパクトな2階建ての構成を検討しています。

■動線計画について

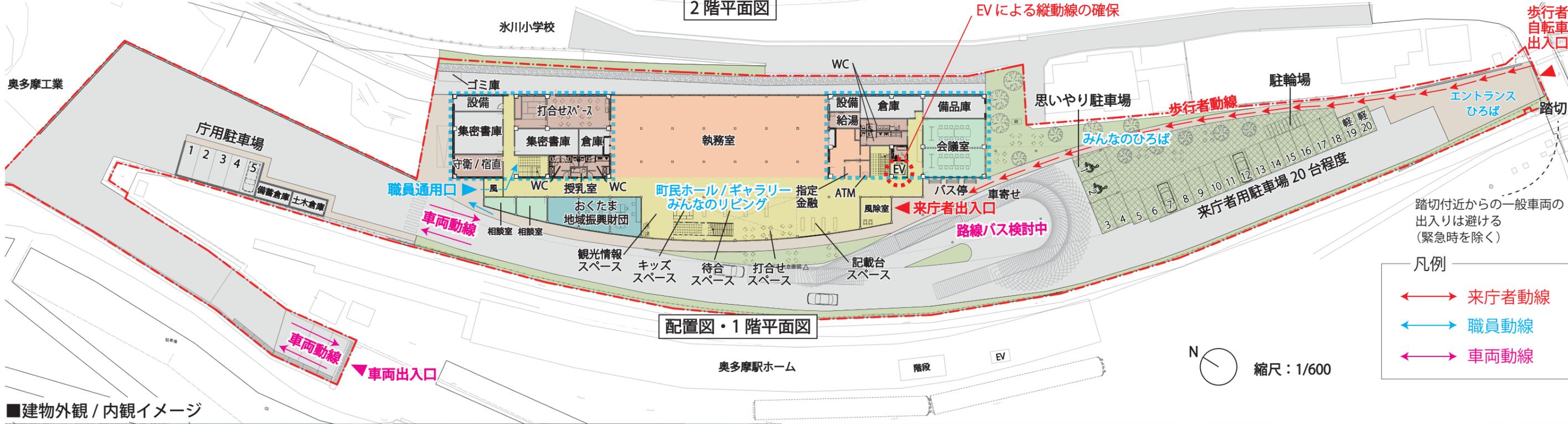
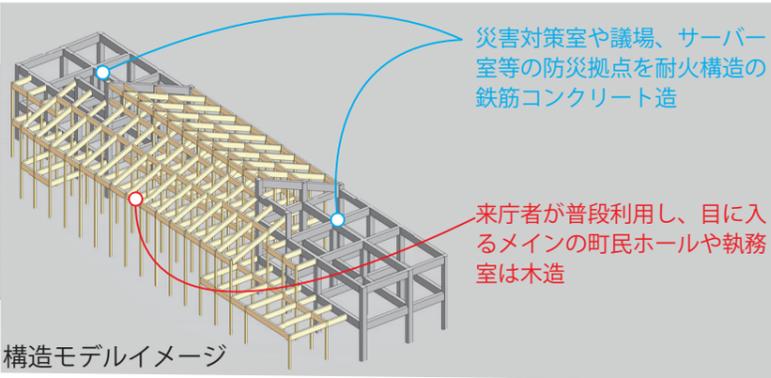
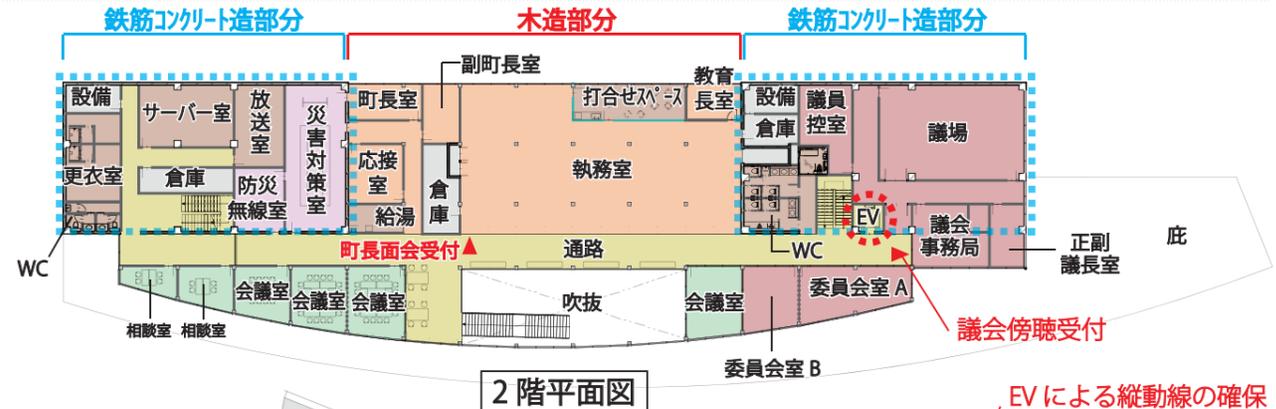
敷地右側の踏切付近からの出入りは、歩行者や自転車専用の出入口とします。（緊急時を除く）

車両は、現庁舎前を通過して奥多摩工業側からの出入りを計画しています。敷地内は安全のため歩車分離を図り、思いやり駐車場からは屋根のある経路を確保します。奥多摩駅からの送迎車や路線バスを経路に組み込むことも検討しています。



■建物構造について

建物を支える構造として、周囲を山や森に囲まれた奥多摩町において、より木が身近に感じられ親しみのもてる庁舎を目指しメインの町民ホール（みんなのリビング）や執務室は木が見え、手で触れられる木造を計画しています。一方、町の防災拠点として災害対策室や議場、また重要書類を保管する書庫等は耐火性能のより高い鉄筋コンクリート造とすることで機能的で人と環境にやさしい庁舎を目指します。



■建物外観 / 内観イメージ

